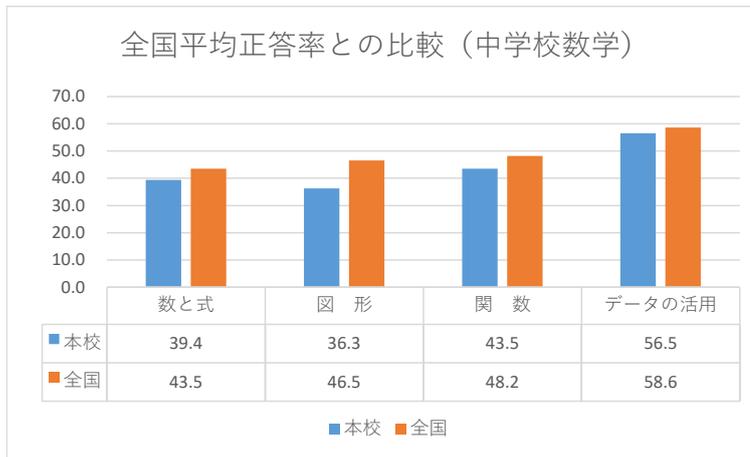


3 数学



(1) 結果

本校の全体の平均正答率は43%であり、全国より5.3ポイント下回り、県より1ポイント下回った。

(2) 成果と課題

領域別で見るとすべての領域で全国平均正答率を下回る結果となったが、数と式の領域においては県の平均正答率を1.7ポイント上回った。しかし、数と式の領域においてほとんどの問題に対する無回答率が全国を下回っているにもかかわらず、全国平均正答率を4.1ポイント下回っている。他の領域においても、無回答率が全国より下回っているにもかかわらず正答率が低いことから、正しい知識や正確な計算力がきちんと身につけていないことがわかる。また、証明や説明の問題の無回答率も県・全国より低い正答率も下回っているため、数学的な表現を用いて理由や考えを説明することも苦手になっている生徒が多い。

「数学の勉強は得意ですか」という質問に対し、「当てはまる、どちらかといえば当てはまる」と肯定的に回答したのは33.9%であり、県より13.8ポイント下回り、全国より12.1ポイント下回った。しかし、「数学の勉強は好きですか」という質問に対して肯定的に回答したのは、64.5%であり県より9.2ポイント上回り、全国より10.7ポイント上回った。この結果より、数学に対して苦手意識をもつ生徒は多いが、数学を意欲的に学びできるようになりたいと考えている生徒も多いことがわかった。

(3) 学力向上のための取り組み

【学校では】

- 基礎的・基本的な学習内容の問題を繰り返し取り組ませ、計算力と数学における知識の定着を図っていきます。
- 課題プリント等で個々のつまづきを見つけ、補充指導する機会を増やしていきます。
- 授業において、さまざまな人の考え方や説明の仕方に触れる機会を増やして、自分の考え方をより深く考察したり他人の考え方が正しいか吟味したりすることで、考えを文章や言葉で表現しようとする力を身につかせます。

【家庭では】

- 3年生の学習のためには、基礎的・基本的な計算を正しくかつ速やかに計算する力や数学における知識の定着が必要です。課題プリントや補充プリントで3年生の内容を復習させるとともに1、2年生の内容も復習するように手立てをとっていきますので、毎日数学の問題を取り組み続けるよう励ましの声かけをお願いします。